

協議会等で示された課題

2026年度 主な取組

プランKPI

コミュニケーション

○日本語学習に関すること

- ・日本語を学習ができる場が少ない。
- ・地域日本語教室があることを知らない外国人が多くいる。(65.1%)
- ・機会があれば勉強したいと思っている外国人が多くいる。(18.2%)
- ・ボランティアの人材が不足している。
- ・日本語を学ばせたい事業者がある。
- ・国、県の日本語教育メニューを知らない事業者がある。
- ・外国にルーツのある児童生徒が増えている。

【拡充】日本語初学者への教室拡充（備後圏域）

【拡充】地域日本語教室ボランティア養成講座（備後圏域）

【新規】外国人材を雇用する事業者への学習支援補助
（介護、障がいサービス含めた事者）

（継続）日本語初期指導教室

日本語で会話ができる
と回答した外国人の割合

2024年度 22.8%



2029年度 40.0%

相互理解

○地域住民と外国人住民の相互理解に関すること

- ・外国人住民が増えることについて、不安を感じている地域住民がいる(29.1%)
- ・地域住民と仲良くなりたい外国人住民が多い(84.9%)
- ・外国人住民が日本の文化や生活習慣を理解しておらず近隣トラブルになることがある

（継続）多文化共生地域理解講座

【新規】多文化関連出前講座
（やさしい日本語、生活オリエンテーション）

（継続）企業向け出前講座

【新規】フレンドリーピックまつながカープチャー

【新規】地域おこし協力隊の活用

福山市にずっと住み続けたい
と回答した外国人の割合

2024年度 32.0%



2029年度 50.0%

環境整備

○外国人住民の生活相談・定着等に関すること

- ・相談窓口があることを知らない外国人住民が多い(44.0%)
- ・災害時の避難など、どうすればよいかわからない外国人住民が多い(18.6%)
- ・行政からの情報が外国人住民や外国人材を雇用する企業に届いていない。
- ・外国人の地元へ定着していくことが重要。

（継続）在住外国人生活相談

（継続）外国人相談体制の整備

（継続）多言語サポーター等養成講座

【拡充】外国人市民向け多言語防災講座

（継続）子育て支援通訳ボランティア派遣

【拡充】福山市多文化共生地域連携協議会
（専門家への相談（備後圏域））

（継続）外国人材活躍推進協議会

【新規】大学等向け市内企業バスツアー支援事業補助

（継続）インターンシップ関連経費補助金

（継続）外国人児童生徒等指導体制の運営協議会

生活で困ったことがない
と回答した外国人の割合

2024年度 41.9%



2029年度 60.0%